



第50号
2017年3月発行
吉祥院
こども診療所

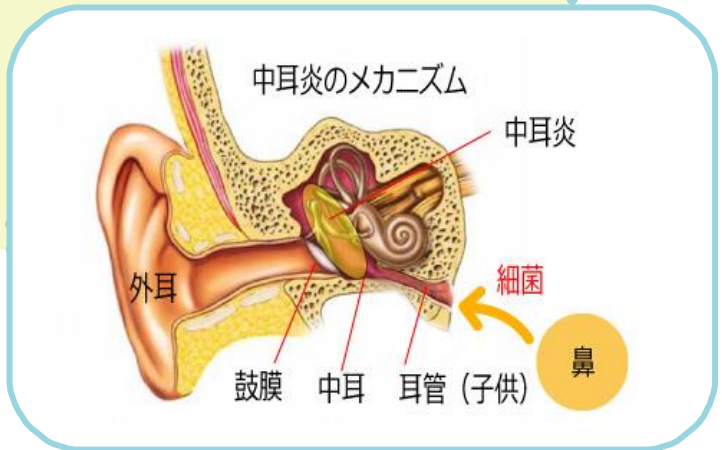
中耳炎って知っていますか？

赤ちゃんの熱や夜泣きが続いて、ほんま大変やったわという経験をお持ちの方もいるはず。中耳炎は乳幼児さんにとってはよくある病気で、鼓膜の奥の中耳という場所に細菌が侵入しておこります。そもそもの原因はただの風邪なので、誰でも中耳炎になる可能性はあります。

中耳炎のはなし



正常の鼓膜は、透明なきれいな膜ですが、中耳にどろどろの鼻汁が入ってくると鼓膜は赤くなり、下の写真のようにドロバナの圧で膨れてきます。こんな風になってしまうと、痛みが出てきます。赤ちゃんであればとても不機嫌になって夜泣きが始まります。発熱を伴うことも多いです。さらに症状が進むと鼓膜は破けて耳だれが出てきます。



乳幼児がなりやすい原因は？

耳と鼻の微妙な位置関係が原因です。
“のどの奥と中耳をつなぐトンネル” これを耳管といいます。このトンネルの微妙な角度や長さで、中耳炎になりやすい子なりにくい子がいます。年齢が小さいほど、耳管は短く、ほとんど水平で鼻汁が中耳に流れ込みやすいため乳幼児さんは中耳炎になりやすいのです。

治療は？

抗生物質の内服が基本です。

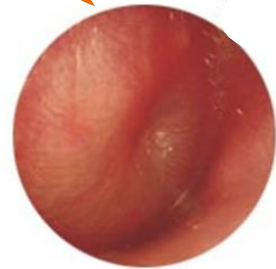
医師の指示通り、薬は飲みきって下さい。

軽い場合は、そのまま観察だけ続ける場合もあります。

正常の美しい鼓膜です



だんだん腫れてきました。



鼓膜が破けて耳だれが出てきます

